

J R C 部

JRC 部は、「気付き 考え 実行する」という行動目標のもと、毎週木曜日の定例活動を中心に、土曜日・日曜日にも地域に出て様々な活動をしています。(部員数 13名)

1 活動紹介

本年度は新型コロナウイルスの影響で、様々な活動が制限され、これまでの継続的な活動ができなくなりました。このようなコロナ禍においてもできる活動を考え、校内を中心に積極的に実践しました。その中の活動を3つ紹介します。

①『清洲第一小学校に学級文庫を贈ろう』



清洲第一小学校は栗野にあり、昨年の台風 19 号による浸水で、長期間校舎を使うことができなくなりました。そこで、昨年栗野に 2.3 年生が災害ボランティアに行ったことから、継続して支援できることはないかを考え、本を寄贈することにしました。低学年用の学級文庫が被害に遭ったことを伺い、「おしりたんてい」や「かいけつゾロリ」など低学年向けの書籍を寄付してもらえよう、ポスター作成、昼の放送等で呼び掛けました。多くの生徒や先生方が協力して下さい、全部で 63 冊の本を寄贈することができました。

実際に手渡し、喜んでいただいたときは、実践できて本当に良かったと実感するとともに、自分自身の責任感も身に付けられたと思います。(実践者：大島野乃花)

②『献血を学んで献血を呼び掛けよう』

コロナ禍で外出制限が続き献血を行う人も減っており、輸血をする人達の血液が足りないことをニュースで知り、「赤十字の一員」である私たちに何かできることはないかと考えました。ただ、「献血に協力して下さい!」と呼び掛けるのではなく、「献血とは何か?」必要性や重要性についてしっかりと伝えることが大切であると考え、まず「JRC 部主催献血講習会」を校内で実施し、赤



十字血
液セン

ターの方に講義をしていただきました。そこで学んだことを各グループで模造紙にまとめて廊下に掲示し、献血について多くの人に知ってもらえるようにしました。また、申し込み期間には、毎朝 15 分程度昇降口で全校生徒に呼び掛けをしながらポケットティッシュを配りました。多くの生徒が献血に協力してくれました。JRC 部の呼び掛けや掲示をきっかけに、多くの生徒が献血に興味を持ち、協力してくれてとてもやり甲斐のある活動になりました。今後はさらに充実した活動に

発展させていきたいです。

(実践者：伊藤萌々香)

③『校内クリーン活動』

これまで校内・校内クリーンウオークとして、定期テスト最終日に学校内外のゴミ拾いを行っていましたが、コロナの影響でクリーン活動とし、全校生徒が利用している昇降口の清掃を、ゆっくり時間をかけて徹底的に行いました。水撒きやブラシがけなどを行い、また下駄箱上を磨くなど、普段の15分の清掃ではなかなかできないところまで行いました。キレイになったことを実感でき、また、通りかかる多くの生徒や先生方から「ご苦労様」などと声を掛けていただき、充実した活動になりました。

